
経済 TOPICS

No. 201
(2022年7月22日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 生産がやや弱めの動きとなっているものの、消費と設備投資が緩やかに持ち直しているほか、雇用も改善傾向にあることから、全体としては緩やかに持ち直している。この間、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の長期化に伴う資源・食料価格の高騰などの影響が懸念されるなど、先行き不透明感が強い状態が続いている。
- 米国 … 生産や輸出が緩やかに持ち直しているほか、消費や設備投資が堅調に推移していることから、全体としては回復を続けている。雇用も堅調で、消費者物価指数は高水準が続いている。この間、景況感と住宅販売は、やや弱めの動きとなっている。
- 欧州 … 生産は横這い圏内の動きながら、輸出、消費や設備投資が改善していることから、緩やかに持ち直している。この間、ロシアのウクライナ侵攻などに伴う資源・食料価格の高騰により、物価が大幅に上昇している。
- 中国 … 輸出は堅調に推移しているものの、生産、消費、不動産開発投資が減速していることから、全体としては減速している。この間、ロックダウンの解除などにより、景況感は改善している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
